

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	町田デザイン&建築専門学校
設置者名	学校法人 東京町田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
建築専門課程	建築工学科(3年制)	夜・通信	270時間	240時間	
	建築デザイン科(2年制)	夜・通信	180時間	160時間	
	インテリアデザイン科(2年制)	夜・通信	180時間	160時間	
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科(3年制)	夜・通信	270時間	240時間	
	イラストレーション科(2年制)	夜・通信	180時間	160時間	
	Web・CGアニメーション科(3年制)	夜・通信	255時間	240時間	
	まんが科(2年制)	夜・通信	207時間	160時間	
	コミックイラスト・マンガ科(2年制)	夜・通信	180時間	160時間	
建築専門課程	二級建築士受験科(2年制)	夜・ <u>通信</u>	7(単位)	4(単位)	
	一級建築士受験科(3年制)	夜・ <u>通信</u>	7(単位)	6(単位)	
<p>(備考)</p> <p>建築専門課程の建築工学科は令和6年度より新設。現況は1年生のみ在籍している。建築デザイン科とインテリアデザイン科は令和6年度より名称変更。現在の2年生は旧学科名(建築設計科、インテリア設計科)のまま在籍。</p> <p>デザイン専門課程のコミックイラスト・マンガ科も同じく令和6年度より名称変更。現在の2年生は旧学科名(コミックイラスト科)のまま在籍。</p> <p>また、令和6年度入学生よりまんが科は募集停止のため、現況は2年生のみ在籍している。</p>					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開 https://www.mdc.ac.jp/koukai/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	町田デザイン&建築専門学校
設置者名	学校法人 東京町田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

町田デザイン&建築専門学校ホームページにおいて、理事名簿を公表している。
<https://www.mdc.ac.jp/koukai/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	一級建築士 建築事務所代表取締役	2023.12.26 ~ 2026.12.25	教育面における経験から、教育内容・カリキュラム・学科編成等について教育的知見がある。
非常勤	元大学医学部兼任教授	2023.12.26 ~ 2026.12.25	教育面における経験から、教育内容・カリキュラム・学科編成等について教育的知見がある。
非常勤	大学名誉教授	2023.12.26 ~ 2026.12.25	教育面における経験から、教育内容・カリキュラム・学科編成等について教育的知見がある。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	町田デザイン&建築専門学校
設置者名	学校法人 東京町田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【作成について】</p> <p>アドミッションポリシーおよび学科ごとのディプロマポリシー・カリキュラムポリシーを反映させた授業ごとの前期後期のシラバスを作成。</p> <p>授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準を明確に表記している。シラバスは校内共有フォルダにて関係者間で確認できるほか職員室にていつでも閲覧可能。</p> <p>ホームページでの公開を計画している。</p> <p>【時期について】</p> <p>翌年度の講義予定(授業計画)1月～2月に担当教員が作成し、(通信制については学科の講師会で開示)2月末の理事会時の議案にて翌年度の事業計画が承認され決定する。3月末に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	町田デザイン&建築専門学校 HP にて公開 https://www.mdc.ac.jp/koukai/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>前期(7月)・後期(1月)においてそれぞれ期末試験または期末制作作品、およびそのプレゼンテーション等により成績評価している。成績評価は優・良・可・不可と表記され、不可は単位未修得となる。(優 100点～85点 良 84点～65点 可 64点から 50点)と定め単位認定している。</p> <p>試験、作品での講師評価に加え授業出席状況も成績に加味される。すべて出席した学生は皆勤、12時間以内の欠時は精勤とし卒業時に褒賞対象としている</p> <p>以上の評価学修成果を進級卒業判定会議にて厳格かつ適正に評価し単位認定している。</p> <p>学生便覧等で公表している。</p> <p>通信制(上記との相違点)</p> <p>前期(6月・9月)・後期(12月・3月)においてそれぞれ中間試験・期末試験、期末課題提出およびそのプレゼンテーション、年間120単位時間が義務付けられているスクーリングの出席率により成績評価している。また、前期・後期を通じてのeラーニング視聴率も成績に加味している。試験、作品での講師評価に加えグループ討議により第三者の評価も成績に加味される。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績判定において期末試験、作品制作評価以外にも日々の授業内において出欠状況、授業課題への取り組み姿勢も成績判定に反映させている。 人間力・社会人基礎力についてもピア教育※を推進し、協同で取り組む課題を通じて社会人に必要な協調性やコミュニケーション力がついているかなども考慮して総合的な成績評価を行っている。更に入学時の学習状況からの個々の成長率を成績に反映している。 以上で学修成果を判定会議にて厳格かつ適正に評価し単位認定している。 学生便覧等で公表している。 ※ピア・カウンセリング教育・・・学生同士が学び合う「仲間教育」</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	町田デザイン&建築専門学校 HP にて公開 https://www.mdc.ac.jp/koukai/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業要件は、2年制 1700 時間以上の出席時数 3年制 2550 時間以上の出席時数・必要単位数の習得・卒業制作の提出公開 および卒業認定会議において認定された学生。卒業制作については、卒業制作要綱に基づき、学科の卒業制作テーマ、各自の研究テーマをきめて企画書を提出。卒業制作担当教員（または卒業制作ゼミ担当）指導の下作成する。 企画シート・中間チェック・提出チェックを通じて産学ネットワーク展にて公開・プレゼンテーションを行い評価している。 通信制（上記との相違点） 卒業要件は、2年制 40 単位の取得、3年制 53 単位の取得が認定されることが条件となる。これにスクーリングへの出席率、e ラーニングの視聴率、課題の提出状況等を加味して単位認定を行っている。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	町田デザイン&建築専門学校 HP にて公開 https://www.mdc.ac.jp/koukai/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	町田デザイン&建築専門学校
設置者名	学校法人 東京町田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月上旬に最新情報をHP公開している。 https://www.mdc.ac.jp/koukai/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	建築専門課程	建築工学科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2640 単位時間/単位	1056 単位 時間/単位	単位 時間/単位	1584 単位 時間/単位	単位 時間/単位	単位 時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	14人	0人	3人	6人	9人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等

(概要) 全授業の内、3～4 回グループ学習の手法を取り入れ、コミュニケーション力、社会人基礎力の育成と共に仲間意識を高める「ピア教育」を積極的に取り入れている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介、各種プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修支援をしている。
--

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		建築専門課程	建築デザイン科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1845 単位時間/単位	738 単位時間/単位	単位時間/単位	1107 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		18人	2人	3人	11人	14人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 全授業の内、3～4 回グループ学習の手法を取り入れ、コミュニケーション力、社会人基礎力の育成と共に仲間意識を高める「ピア教育」を積極的に取り入れている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介、各種プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修支援をしている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		建築専門課程	インテリアデザイン科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間/単位	768 単位時間/単位	単位時間/単位	1152 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		26人	0人	3人	13人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 全授業の内、3～4回グループ学習の手法を取り入れ、コミュニケーション力、社会人基礎力の育成と共に仲間意識を高める「ピア教育」を積極的に取り入れている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介、各種プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修支援をしている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン 専門課程	グラフィックデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2790 単位時間/単位	697 単位時間/単位	単位時間/単位	2093 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
105人		86人	1人	1人	11人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等

(概要) 全授業の内、3～4 回グループ学習の手法を取り入れ、コミュニケーション力、社会人基礎力の育成と共に仲間意識を高める「ピア教育」を積極的に取り入れている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介、各種プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修支援をしている。
--

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン 専門課程	イラストレーション科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1980 単位時間/単位	495 単位時間/単位	単位時間/単位	1485 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		80人	1人	1人	6人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 全授業の内、3～4 回グループ学習の手法を取り入れ、コミュニケーション力、社会人基礎力の育成と共に仲間意識を高める「ピア教育」を積極的に取り入れている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介、各種プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修支援をしている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン 専門課程	Web・CG アニメーション科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2790 単位時間/単位	697 単位時間/単位	単位時間/単位	2093 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
105人	59人	0人	1人	8人	9人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
（概要） 全授業の内、3～4回グループ学習の手法を取り入れ、コミュニケーション力、社会人基礎力の育成と共に仲間意識を高める「ピア教育」を積極的に取り入れている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介、各種プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修支援をしている。	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン 専門課程	まんが科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間/単位	480 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1440 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		5人	0人	3人	2人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	

(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 全授業の内、3～4回グループ学習の手法を取り入れ、コミュニケーション力、社会人基礎力の育成と共に仲間意識を高める「ピア教育」を積極的に取り入れている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介、各種プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修支援をしている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン 専門課程	コミックイラスト・マンガ科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間/単位	480 単位時間/単位	単位時間/単位	1440 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		66人	0人	3人	7人	10人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 全授業の内、3～4回グループ学習の手法を取り入れ、コミュニケーション力、社会人基礎力の育成と共に仲間意識を高める「ピア教育」を積極的に取り入れている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介、各種プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修支援をしている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		建築専門課程	二級建築士受験科	×			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技

2年	昼	40 単位時間/単位	24 単位時間/単位	16 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人	259人	0人	2人	12人	14人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 成績判定において中間試験・期末試験、課題制作評価以外にも、スクーリングの出欠状況、eラーニングの視聴率も成績判定に反映させている。 通信制の受験資格取得を目標とする学科のため、建築士試験へのモチベーションを高めるように、目標を明確にし、学生に折に触れて情報を伝達している。 以上で学修成果を判定会議にて厳格かつ適正に評価し単位認定している。 上記の内容をHP、学生便覧、入学説明会で公表している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業要件は、2年制40単位以上の単位数、スクーリング120単位時間の80%以上の出席数、eラーニングの視聴率80%以上、課題の提出および卒業認定会議において認定された学生が卒業を認められる。 卒業要件についても、入学説明会、オリエンテーション、HPで事前に公表し周知徹底を図っている。
学修支援等
(概要) 働きながら、大学や短大に通いながら学習を続ける受講生のために、スクーリングの都合が合わない学生のための補講を積極的に活用。進級、卒業の比率も他の大学等の通信制と比較して高い率を保持している。 学修に関しても、スクーリング時の講師の指導の充実、eラーニング上からの多様な質問の受付、欠席等のフォローも事務局において丁寧に対応している。 また、卒業後の資格取得に関しても、資格学校と提携して安価に対策講座を提供している。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業	建築専門課程	一級建築士受験科	×			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
3年	昼	53 単位時間/単位	32 単位時間/単位	21 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
	単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
105人	50人	0人	2人	13人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 成績判定において中間試験・期末試験、課題制作評価以外にも、スクーリングの出欠状況、eラーニングの視聴率も成績判定に反映させている。 通信制の受験資格取得を目標とする学科のため、建築士試験へのモチベーションを高めるように、目標を明確にし、学生に折に触れて情報を伝達している。 以上で学修成果を判定会議にて厳格かつ適正に評価し単位認定している。 上記の内容をHP、学生便覧、入学説明会で公表している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業要件は、3年制53単位以上の単位数、スクーリング120単位時間の80%以上の出席数、eラーニングの視聴率80%以上、課題の提出および卒業認定会議において認定された学生が卒業を認められる。 卒業要件についても、入学説明会、オリエンテーション、HPで事前に公表し周知徹底を図っている。
学修支援等
（概要） 働きながら、大学や短大に通いながら学習を続ける受講生のために、スクーリングの都合が合わない学生のための補講を積極的に活用。進級、卒業の比率も他の大学等の通信制と比較して高い率を保持している。 学修に関しても、スクーリング時の講師の指導の充実、eラーニング上からの多様な質問の受付、欠席等のフォローも事務局において丁寧に対応している。 また、卒業後の資格取得に関しても、資格学校と提携して安価に対策講座を提供している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
131人 (100%)	4人 (3.1%)	98人 (74.8%)	29人 (22.1%)
（主な就職、業界等） ・建築デザイン科、インテリアデザイン科では主に建築業界（建設会社・設計事務所等）に就職、グラフィックデザイン科、イラストレーション科、Web・CGアニメーション科、コミックイラスト科、まんが科では広告制作業界（広告制作会社・デザイン事務所・印刷関連）、映像制作、CGゲーム業界に就職、それ以外では製造業・流通業界に就職している。			
（就職指導内容） ・全学科必須で1年間就職指導の授業を実施し、業界研究から就職試験の対策（面接・筆記・適性試験等）を行っている。Web面接対策のためオンライン面接も実施。 ・個別指導を重視し、就職先が確定するまで担任、キャリアセンタースタッフが学生一人ひとりと個別に面談し指導を行っている。			

<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>建築専門課程：商業施設士補、リビングスタイリスト2級、照明コンサルタント、カラーコーディネーター2級、福祉住環境コーディネーター、CAD利用技術者、DIYアドバイザー、インテリアコーディネーター他</p> <p>デザイン専門課程：色彩検定、illustratorクリエイター能力検定、Photoshopクリエイター能力検定、POP広告クリエイター(1～3級)、Webデザイナー検定、CGクリエイター検定等</p> <p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>一級建築士受験科(通信教育)及び二級建築士受験科(通信教育)については受講者が社会人の為、除きます。</p>
--

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
649人	35人	5.4%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>昼間部専門課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調不良・病気等による(精神的疾患を含む) ・学業不振・修学意欲低下による ・通学困難・起床困難等の学校生活不適應による ・家庭の経済的な理由による(コロナ禍における収入減を含む) ・家庭の諸事情による ・進路変更による <p>通信教育課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の多忙によるスケジュール的に困難な事情による ・学業不振・修学意欲低下による ・体調不良・病気等による(精神的疾患を含む) ・進路変更による ・コロナ禍における職種の関係でのスクーリング参加困難による ・新型コロナウイルス感染不安による 		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>・都度担任及び校長、副校長による個人面談、担任及び副校長による保護者面談やカウンセラーによるカウンセリングを通し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。進路変更希望者に対しても同様である。また、経済的な理由の場合においても学費の延納、分納制度等の措置を紹介すると共に低金利の教育ローン等の紹介をしている。また、進級時において学習成果向上奨学金制度(昼間部のみ)を設け、対象となる学生に対し授業料を減免する等、出来得る限りのドロップアウト防止に努めている。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
建築デザイン科 (2年制)	150,000円	740,000円	405,000円	その他内訳：施設設備・管理費 240,000円、実習費140,000円、学 級費20,000円、後援会費5,000円
インテリア設計科 (2年制)	150,000円	740,000円	405,000円	その他内訳：施設設備・管理費 240,000円、実習費140,000円、学 級費20,000円、後援会費5,000円
グラフィック デザイン科 (3年制)	150,000円	740,000円	375,000円	その他内訳：施設設備・管理費 240,000円、実習費110,000円、学 級費20,000円、後援会費5,000円
イラストレーショ ン科 (2年制)	150,000円	740,000円	375,000円	その他内訳：施設設備・管理費 240,000円、実習費110,000円、学 級費20,000円、後援会費5,000円
Web・CGアニメーシ ョン科 (3年制)	150,000円	740,000円	375,000円	その他内訳：施設設備・管理費 240,000円、実習費110,000円、学 級費20,000円、後援会費5,000円
まんが科 (2年制)	150,000円	740,000円	405,000円	その他内訳：施設設備・管理費 240,000円、実習費140,000円、学 級費20,000円、後援会費5,000円
コミックイラスト 科 (2年制)	150,000円	740,000円	405,000円	その他内訳：施設設備・管理費 240,000円、実習費140,000円、学 級費20,000円、後援会費5,000円
建築工学科 (3年制)	150,000円	740,000円	405,000円	その他内訳：施設設備・管理費 240,000円、実習費140,000円、学 級費20,000円、後援会費5,000円
二級建築士受験科 (2年制・通信)	30,000円	360,000円	45,000円	その他内訳：施設設備・管理費 35,000円、実習費10,000円
一級建築士受験科 (3年制・通信)	30,000円	360,000円	45,000円	その他内訳：施設設備・管理費 35,000円、実習費10,000円
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ・学費の延納及び分納制度 ・学費等に関する個別対応実施 ・学習成果向上奨学金制度 (昼間部のみ) 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、町田デザイン&建築専門学校ホームページで公開している。 https://www.mdc.ac.jp/koukai/		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 自己評価報告書に基づき、専門分野における本校関係者により組織した学校関係者評価委員会(関連業界等関係者、卒業生、教育に関し知見を有する者、その他校長の定める者)に報告し、意見を聞き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
建築会社代表取締役	2023. 4. 1. ~2025. 3. 31	企業
建築会社代表取締役	2023. 4. 1. ~2025. 3. 31	卒業生
町田商工会議所	2023. 4. 1. ~2025. 3. 31	地域関係者
高等学校 校長	2023. 4. 1. ~2025. 3. 31	学校関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、町田デザイン&建築専門学校ホームページで公開している。 https://www.mdc.ac.jp/koukai/		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、町田デザイン&建築専門学校ホームページで公開している。 https://www.mdc.ac.jp/koukai/
